

# 学生議会

## 質問通告書一覧

### 令和6年8月23日

#### 【発言の順番】

- 1番 福地中学校 ながや しゅう 永谷 脩さん  
「スポーツを通したまちおこし」
- 2番 平坂中学校 しばた はると 柴田 春渡さん  
「他の中学校の人との交流について」
- 3番 鶴城中学校 おおくぼ あきら 大久保 旭さん  
「介護支援の拡充について」
- 4番 吉良中学校 かとう のあ 加藤 乃愛さん  
「「一日中楽しめるまち にしお」にするために」
- 5番 一色中学校 よしだ めいせ 吉田 明星さん  
「もっと活気のある地元にしたい」
- 6番 西尾中学校 おおはし みのる 大橋 実さん  
「西尾の抹茶を知ってもらい、触れてもらうために」
- 7番 幡豆中学校 こばやし ゆうた 小林 優太さん  
「明るい未来への実現に向けて」
- 8番 寺津中学校 おかもと ゆうま 岡本 悠真さん  
「気兼ねなく遊べる公園の整備」
- 9番 佐久島しおさい学校 つつい たいが 筒井 大駕さん  
「佐久島の未来を支える観光を」
- 10番 東部中学校 むらい あやな 村井 絢南さん  
「小中学校プールの将来計画と火災への備え」

## 学生議会 質問通告書

【学校名：福地中学校】

ふりがな 氏 名	ながや しゅう 永谷 脩	学年等	3年3組
-------------	-----------------	-----	------

テーマ	スポーツを通したまちおこし
<p>現状や課題</p> <p>意見・提案事項</p>	<p>西尾市は、令和3年4月に、スポーツを愛し、スポーツを通じて健康で豊かな心と体を育て、「スポーツで元気になるまち西尾」を築くため、「スポーツ都市」を宣言しています。その後、令和4年3月に、第1回にしおマラソンが開催され、来年の1月には第3回が開催される予定です。</p> <p>また、2年後の令和8年9月から10月には、オリンピック・パラリンピックのアジア版大会である「アジア・アジパラ競技大会 愛知・名古屋大会」が開催され、西尾市総合体育館でボクシング競技が行われます。</p> <p>その他にも、吉良町の<small>まだらめ</small>駿馬瀬戸地区にテニスコートが新たに建設されるなど、市がよりスポーツに力を入れていくには、丁度よい時期ではないかと思えます。</p> <p>アジア競技大会の際には多くの方が西尾市を訪れることが予想されます。そこで、名古屋鉄道と協力したりすれば、西尾市の知名度の向上につながるのではないのでしょうか。</p> <p>さらに、スポーツを通じて市をPRしたり、大規模な大会や合宿を誘致し、スポーツイベントの開催が増えたりすれば、市民全体のスポーツへの関心が高まるとともに、スポーツ観戦等で西尾市を訪れる人が増えます。スポーツを通じたまちづくりの機運が高まることで子どもたちがスポーツをする機会が増え、需要が高まることで競技場の整備が進めば、子どもたちにとってスポーツがより身近なものになると思えます。</p> <p>そこで質問します。</p>
<p>質 問</p>	<p>1 スポーツイベントを市内外にPRする方法やタイミング、PRする内容はどのようなのですか。</p> <p>2 「アジア・アジパラ競技大会 愛知・名古屋大会」が開催され、西尾市もボクシング競技の会場となります。名古屋鉄道やテレビ局などと協力しながら、SNSなどを活用して西尾市の魅力</p>

	をPRし、地域資源とスポーツを組み合わせたスポーツツーリズムを進めませんか。
--	--

## 学生議会 質問通告書

【学校名：平坂中学校】

ふりがな 氏 名	しばた はると 柴田 春渡	学年等	3年3組
-------------	------------------	-----	------

テーマ	他の中学校生徒と交流を深めるために
<p>現状や課題</p> <p>意見・提案事項</p>	<p>僕は学習塾に通っており、その塾には他の中学校の生徒もいます。しかし、同じ場所で勉強をしても、他の中学校の生徒と話すことはほとんどなく、中学校ごとの壁があると感じています。</p> <p>また、僕は文化部に所属していますが、運動部の大会や試合のように、他の中学校の生徒に会う機会が全くありません。他の中学校の生徒と関わる機会のある生徒に比べて、僕はコミュニケーションスキルを磨く機会が不足していると感じています。そのため、他の中学校の生徒と交流する場をもっと増やしたいと考えています。</p> <p>西尾市では毎年、市内の中学2、3年生を対象にイングリッシュキャンプが行われています。イングリッシュキャンプは、夏休み期間中に1泊2日の日程で佐久島において実施され、英語指導助手の方と一緒に、全て英語で佐久島の自然体験活動や交流イベントを行うものです。僕も昨年参加して、他の中学校の生徒と交流する中で新しい友達ことができました。しかし、イングリッシュキャンプは英語の学習が主な目的ですので、同じ活動班の仲間や、同じ旅館に泊まった人としか友達になることができませんでした。せっかくの機会だったので、できれば参加者全員と交流したかったです。</p> <p>そこで、西尾市の新しい取り組みとして、市内の中学校の生徒が交流できるイベントを行ってはどうでしょうか。部活動など学校の活動以外でも、交流を通して友達をつくる機会ができたらいいと思いました。中学校の壁を越えて新たなネットワークを築き、新しい視野に気づくことで、将来に役立つコミュニケーション能力を高められると思います。</p> <p>そこで、質問します。</p>
<p>質 問</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 イングリッシュキャンプ以外で、今までに市内の中学校の生徒が交流できるようなイベントは、どんなものがありましたか。</li> <li>2 西尾市の歴史や抹茶などをテーマに、中学校の壁を越えて、生徒が交流しながら西尾市について一緒に学ぶことのできるイベントを実施しませんか。</li> </ol>

## 学生議会 質問通告書

【学校名：鶴城中学校】

ふりがな 氏 名	おおくぼ あきら 大久保 旭	学年等	3年5組
-------------	-------------------	-----	------

テーマ	介護支援の拡充について
<p>現状や課題</p> <p>意見・提案事項</p>	<p>皆さんの身近な方や家族の中に、介護を必要とされている方はいますか。私の曾祖母もかつては、その一人でした。それまで、自分だけでなく家族の食事の用意や洗濯までやっていた曾祖母が、85歳の時に突然、自分の食事や水分補給までも忘れてしまうほど重度の認知症になってしまいました。</p> <p>そのため、私の母が、曾祖母の介護のために動くことになりました。私は、その時になって初めて介護の必要度によってレベルが分けられていることを知りました。家族は「特別養護老人ホーム（以下、特養）」への入居を希望していましたが、曾祖母の要介護レベル2では申し込みはできませんでした。</p> <p>仕事もあり、付きっきりの介護が難しい母にとっては、かなり苦しい日々が続きました。その後、曾祖母が受け入れられた「サービス付き高齢者向け住宅」は、費用の面で特養よりも高くなることが多いそうです。</p> <p>そこで提案します。私の提案は、「介護が必要な方に対するサービスやケアの拡充」です。例えば、介護施設や介護職員の増大、特養に入ることができる人の基準の緩和をして、希望する人が誰でも介護施設に入所できるようにしてほしいと思います。また、要介護者だけでなく、介護する家族などに対するサービスやケアの拡充をして欲しいと思います。</p> <p>そこで質問します。</p>
<p>質 問</p>	<p>1 特養に入ることができる人の基準や、介護レベルに応じたサービスの内容は国により統一されていますか。</p> <p>【再質問】</p> <p>西尾市は介護施設を増やして、より手厚い対応をしませんか。</p> <p>2 働きながら介護する母はとて大変そうでした。介護する家族に対するサービスやケアは何かありますか。もっと充実させませんか。</p>

	<p>3 母が家事、仕事そして介護と忙しそうにする姿を見て、介護する側に対する補助があるといいなと思っていました。そんな中、認知症サポーターという役割の方がいることを知りました。にしお未来創造ビジョンの分野別基本計画の基本目標4・施策3の中に「認知症サポーター数の増大」がありますが、認知症サポーターの方が行える具体的な取り組みはどんなことがありますか。</p>
--	---

## 学生議会 質問通告書

【学校名：吉良中学校】

ふりがな 氏 名	かとう のあ 加藤 乃愛	学年等	3年2組
-------------	-----------------	-----	------

テーマ	「一日中楽しめるまち にしお」にするために
<p>現状や課題</p> <p>意見・提案事項</p>	<p>私は幼いころ、よく公園に連れていってもらいました。近所の公園はもちろん、近隣市町の大きな公園にも連れていってもらいました。特に半田市の運動公園や大府市の「あいち健康の森公園」などたくさんの遊具や遊び場がある公園が印象に残っています。</p> <p>西尾市にも、「愛知こどもの国」や「遊ぼっ茶広場」など、無料で利用できる施設があり、多くの家族連れが訪れています。私も何度か訪れたことがあり、そこで遊んだことは楽しい思い出の一つとなっています。</p> <p>以前、キッチンカーのイベントが行われたとき、久しぶりに「愛知こどもの国」を訪れました。幼いころに遊んだ記憶が蘇ると同時に、遊具や様々な施設が老朽化していると感じました。</p> <p>同じく県営の公園であり、碧南市と安城市にまたがる「油ヶ淵水辺公園」は、平成30年から徐々にエリアを拡大し、令和5年に新たに遊具広場を整備したと聞きました。新たな遊具で子どもたちが遊ぶ様子はSNSでアップロードされることも多く、私も何度か目にしたことがあります。</p> <p>このように、西尾市も今ある公園設備の老朽化を整備したり、新たな遊具を追加したりするなど、多くの方が一日中楽しめる施設を計画してはどうかと考えました。そうすることで、多くの方に西尾市の魅力を知ってもらい、「一日中楽しめるまち にしお」として認知してほしいと思います。</p> <p>そこで質問します。</p>
<p>質 問</p>	<p>1 これまで、無料で楽しめる大きな公園や施設を建設しようという議論がされたことはありますか。</p> <p>【再質問】</p> <p>大きな公園の整備を望むご意見やご要望が多くあるとのことですが、整備することを考えませんか。</p> <p>2 半田市運動公園の大きな滑り台や、油ヶ淵水辺公園のカエルをモチーフにした遊具など、多くの方が訪れる場所にはトレードマ</p>

	<p>ークとなる遊具があります。現存する施設の老朽化を踏まえ、トレードマークとなる遊具にリニューアルしてはどうか。</p>
--	---

## 学生議会 質問通告書

【学校名：一色中学校】

ふりがな 氏 名	よしだ めいせ 吉田 明星	学年等	3年5組
-------------	------------------	-----	------

テーマ	もっと活気のある地元になりたい
<p>現状や課題</p> <p>意見・提案事項</p>	<p>僕は、地元の一色町を含む西尾市が、もっと活気のあるまちになればいいなと思っています。そのためには市外から多くの人を訪れるようになればよいと考えます。そこで2つ提案します。</p> <p>1つ目は、スポーツに関わる事業の活性化です。「にしお未来創造ビジョン」における4つのにしおわくわく戦略の一つに、「新たな活動の創造」があります。その中のプロジェクト2として「地域力の創造」と「関係人口の拡大」があり、スポーツを核とした関係人口の拡大を指標としています。具体的には、マラソンなどのイベント参加者と、Vリーグなどの観戦者数の増加を目指しています。</p> <p>にしおマラソンでは、県外から参加者が来るなど、西尾市の活性化につながっているように感じます。しかし、バレーボールのデンソーエアリービーズが本拠地を福島県郡山市に移転することが発表され、今後、ファンや応援団の方が市内に来る機会が減少するような気がします。</p> <p>そこでスタンドや照明がある野球場を新たに整備してはどうでしょうか。プロのみならず、高校野球や一般のチーム、またソフトボールの試合を行うことができれば、県外から来場する方も増えるはずです。加えて開催日には、来場者に向けた西尾の特産品販売所を設置したり、試合が開催されない日には球場の貸し出しを行ったりすることで、より地域の活性化につながると考えます。</p> <p>2つ目は、海洋関連施設の誘致です。特に国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）の拠点の一つを誘致することで、海岸沿いのまちとして活性化すると思います。さらに施設内の見学コースや研究の模擬体験ができるブースを設置するなどすれば、来場者も増えて、よりまちの経済活性にもつながると考えます。</p> <p>また、実際に佐久島で探索体験ができるプログラムを取り入れれば、佐久島を訪れる人が増え、渡船の便数増加や航路拡大、佐久島の活性化にもつながるのではないのでしょうか。</p> <p>そこで質問します。</p>

質 問	<p>1 今までに、スタンドや照明が設置された野球場を建設する計画はありましたか。計画があったのであれば、なぜ建設が進んでいないのですか。</p> <p><b>【再質問】</b></p> <p>そのような野球場を建設するのにどのような条件が必要ですか。また、市内に建設することへの障害になっているのは、どのようなことですか。</p> <p>2 今までに、海洋施設の誘致計画はありましたか。計画があったのであれば、なぜ誘致が進んでいないのですか。</p> <p><b>【再質問】</b></p> <p>海洋施設を市内に誘致する上での課題は何ですか。</p>
-----	---

学生議会 質問通告書

【学校名：西尾中学校】

ふりがな 氏名	おおはし みのる 大橋 実	学年等	3年1組
------------	------------------	-----	------

テーマ	西尾の抹茶を知ってもらい、触れてもらうために
現状や課題 意見・提案事項	<p>僕は今年の5月、兵庫県に旅行に行った際、たい焼き店でとある看板を見つけました。そこに書いてあった内容は、「西尾の抹茶使用！！抹茶たい焼き」というものでした。このとき、僕は素直にうれしかったです。西尾の抹茶のブランド力のすごさ、そして、抹茶は西尾の誇りであることを実感しました。しかし、世間一般で見ると、知名度は京都の宇治や静岡に劣ります。西尾市民として、全国の人にもっと西尾の抹茶を知ってもらいたい。そして、触れてもらいたい。そう思いました。</p> <p>僕が注目したのは、令和7年1月19日開催予定のにしおマラソンの中での抹茶の取り扱いについてです。前回大会では、全国各地からランナーが集まったと聞きました。実際に僕もボランティアとして荷物の搬入を手伝いました。そんなにしおマラソンでは、抹茶やうなぎなど、西尾市の特産物がランナーに提供され、西尾市について知ってもらうきっかけになったと思います。</p> <p>そこで、次のことを提案します。</p> <p>全国各地から多くの人が集まるにしおマラソンの開催日に合わせて、マラソン会場で抹茶の無料体験教室や市内中学校の茶道部員による無料呈茶を行ってはどうか。</p> <p>この取組を行うことで、ランナーだけでなく、応援に来た人たちも西尾の抹茶をPRすることができ、触れていただくことで知名度が高まり、西尾の抹茶のさらなるブランド力向上につながるのではないのでしょうか。</p> <p>令和4年度に策定された「にしお未来創造ビジョン」の中に、ふるさと納税の納税額を10年後には約2倍まで伸ばしたいという目標があります。そのためには、「西尾の抹茶」のブランド力をさらに高め、より魅力的な返礼品とすることが不可欠だと考えます。</p> <p>そこで質問します。</p>

質 問	<p>1 にしおマラソンの開催日に合わせて、コース沿いやゴール付近などのマラソン会場で、抹茶の無料体験教室や市内中学校の茶道部員による無料呈茶を実施しませんか。</p> <p>2 今年の11月16日（土）と17日（日）に、西尾市斉藤町のJA西三河事務センター駐車場において「第76回関西茶業振興大会愛知大会」式典及び西尾の抹茶PRイベントが同時開催されますが、具体的にはどのような内容を予定していますか。</p> <p><b>【再質問】</b></p> <p>そのほかに、西尾の抹茶をより多くの人に知ってもらい、触れてもらうためにどのようなことを行う予定ですか。</p>
-----	---

学生議会 質問通告書

【中学校名：幡豆中学校】

ふりがな 氏 名	こばやし ゆうた 小林 優太	学年等	3年1組
-------------	-------------------	-----	------

テーマ	明る未来への実現に向けて
現状や課題 意見・提案事項	<p>私たちが住むこの日本は、地震や台風、火山噴火といったさまざまな自然災害の危険性と隣り合わせにあります。その中でも特に西尾市は、南海トラフ地震が発生した場合、愛知県内で最大規模となる甚大な被害が出ると想定されています。</p> <p>その他にも、吉良町や一色町などの標高が低い地域では、津波や洪水による浸水被害の危険性があり、また、幡豆町など山が近い地域では、土砂災害が発生する可能性があります。</p> <p>私は、防災について興味をもち、さまざまな講座を受ける中で「防災士」という資格を取得しました。地域の災害への対応力向上のためには、現役世代である大人の力が大切ですが、災害が発生した時には出勤してその場にはいないことがよくあります。そのため、小中学生といった平日の昼間でも地域にいると考えられる人材を育てていく必要があると考えます。</p> <p>そこで、市が防災士育成プログラムを学生向けに行ったり、学校での防災教育の充実を図ったりすることを提案します。実際に、東京都や東北地方では、学生の地域の防災リーダーを育てる取り組みが行われています。</p> <p>その他にも、自然災害から市民の命を守るだけでなく、市民の生活や被災後のまちの早期復興のために、新耐震基準での耐震工事の普及、補助金での家具の固定、各家庭への防災備蓄の準備を進めていくことが必要だと考えます。</p> <p>そこで質問します。</p>
質 問	<p>1 西尾市で、学生向けの防災士育成のためのプログラムを実施したことはありますか。</p> <p>【再質問】 愛知県で取り組んでいる「防災・減災カレッジ」のような活動を西尾市で取り組みませんか。</p>

	<p>2 市民を対象として、「耐震工事を行っているか」「家具の固定を行っているか」「家庭での備蓄、非常用持ち出し袋を用意しているか」という点について、調査を行っていますか。</p> <p>また、調査を行っている場合、各項目で実施している人の割合はどれくらいですか。</p> <p><b>【再質問】</b></p> <p>各項目の実施率を向上させるため、啓発や補助金交付などの対策を行っていますか。</p>
--	--

## 学生議会 質問通告書

【学校名：寺津中学校】

ふりがな 氏 名	おかもと ゆうま 岡本 悠真	学年等	3年1組
-------------	-------------------	-----	------

テーマ	気兼ねなく遊べる公園の整備
<p>現状や課題</p> <p>意見・提案事項</p>	<p>僕はよく友達と外で遊ぶことがあります、その時に困ることがあります。なぜかという、ボールを使ってはいけない公園や、思いつき遊ぶには狭い公園しか近くにないからです。</p> <p>以前、子供を連れて方に「この近くにバスケットゴールがある場所がありますか」と尋ねられたことがありました。僕の住む地域には、小さい公園が多く、バスケットゴールなどの器具もないので適当な場所を教えてあげることができませんでした。このような経験から公園について調べてみると、地元の寺津地区を含め西尾市には、気軽に行ってスポーツができる場所が少ないと感じました。</p> <p>また、平成14年に文部科学省の中央教育審議会が答申した「子どもの体力向上のための総合的な方策について」の中で、スポーツや外遊びに不可欠な要素である空間が住宅の開発などに伴って減少していることが、子どもの体力の低下の原因の一つとされています。</p> <p>自宅近くの公園には柵がなく、ボールを使って遊ぶとボールが道路に出てしまうため、危険な上に近所の方にも迷惑がかかります。公園でスポーツをする場合は、周りの状況に合わせて安全に行い、ほかの人や近隣住民に迷惑をかけないことが大切ですが、近くには気兼ねなく中学生が遊ぶことができる広い場所が残念ながらありません。</p> <p>そこで、すでにある大きな公園にフェンスや柵をつけるのはどうかと考えました。無料で誰でも使えるようにして、曜日ごとに優先して使うことができる年代を分けてみてはどうでしょうか。それと同時に大きな公園を作り、いつでも気軽に無料で様々なスポーツができるようにバスケットゴールなどを設置して、予約なしで遊ぶことができる場所を作ってほしいと思います。</p> <p>そこで質問します。</p>
質 問	<p>1 寺津緑地に高い柵やフェンスを設置してボール遊びができる場所にしてはどうですか。</p>

	<p>2 西野町保育園跡地に「にしのみ茶公園」を整備する予定がありますが、その中に無料でスポーツができる場所がありますか。</p> <p><b>【再質問】</b></p> <p>「にしのみ茶公園」以外に、寺津地区や西尾市内にスポーツができる大きな公園を整備する予定はありますか。</p>
--	---

## 学生議会 質問通告書

【中学校名：佐久島しおさい学校】

ふりがな 氏 名	つづい たいが 筒井 大駕	学年等	後期課程 3 年
-------------	------------------	-----	----------

テーマ	佐久島の未来を支える観光を
<p>現状や課題</p> <p>意見・提案事項</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に移行されて 1 年が経ち、僕が住んでいる佐久島にもたくさんの観光客が戻ってきました。僕の家族は佐久島で民宿を営んでいます。曾祖父の代から始まり、僕の父で 3 代目です。その民宿にも家族や団体で宿泊するお客さんが戻ってきました。僕も連休や学校の長期休みの期間には、民宿の手伝いをする機会が増えています。</p> <p>今年度、「第 2 次西尾市観光基本計画」が策定されました。それによると、佐久島には、令和 4 年の 1 年間でおよそ 8 万 5,000 人の観光客が訪れており、観光満足度として佐久島を「魅力的だと思う」「どちらかといえば魅力的だと思う」と回答した人の割合が 8 割近くに上っていることが分かります。ここから、佐久島は西尾市にとって大きな観光資源の一つであると言えます。</p> <p>一方で、気掛かりなこともあります。それは、コロナ禍前と比べ、年間の観光客数が減少していることと、観光客のうち、佐久島を含め市内の宿泊施設を利用して宿泊している人が少ないことです。</p> <p>コロナ禍前の令和元年は約 10 万 9,000 人だった佐久島への観光客数は、令和 4 年には 2 万人以上少なくなっています。また、西尾市への観光客のおよそ 9 割が日帰りであり、市内の宿泊施設を利用して宿泊した人の割合は 1 割にも満たないという現状があります。</p> <p>確かに、佐久島の様子を思い浮かべても、連休や長期休み、気候のよい土日などには、臨時の渡船が次々に出て、観光や釣りなどでとても多くの人が島を訪れますが、コロナ禍前と比べると、少ないように感じます。</p> <p>また、昼過ぎや夕方までに帰っていく人がほとんどで、宿泊目的で民宿を利用する人は限られています。民宿業は島民の生活や島の観光業を支える重要な産業の一つですが、その民宿業が今後も存続していくことができるのか、心配しています。</p> <p>僕がこのように感じるのには、もう一つ理由があります。日本社会全体だけでなく、佐久島でも少子高齢化が進んでいます。高校や</p>

	<p>大学へ進学する際に、若者が島を離れる場合もあり、島の高齢者の割合が高まっています。進学などで一度は島を離れた若者が、再び島に戻り、観光業とともに魅力ある佐久島を存続させていくには、島に働き口があり、生計を立てられる仕組みが整っていることが大切だと考えます。</p> <p>僕自身、民宿を父から受け継ぐかどうか、まだ具体的には考えられてはいません。しかし、進学を機に島を一旦離れた後に、生まれ育ったふるさとである佐久島に戻ることを考えたとき、民宿業をはじめ、島に働き口があることや、それにより生計を立てられる仕組みが整っているかどうかは、僕のその後の生活を大きく左右すると思います。そして、それは僕の後輩たちも同じです。</p> <p>そこで、次の3点について質問します。</p>
<p style="text-align: center;">質 問</p>	<p>1 西尾市の観光施策の展開についてです。日帰りでの観光のみならず、市内の宿泊施設への宿泊を伴う観光を活性化するために、具体的にどのような施策を行っていくのでしょうか。例えば、吉良温泉と佐久島とで手を取り合い、吉良温泉の宿泊施設が運航しているようなクルーズ船を佐久島と結び、宿泊を含めた新たなプランを打ち出してみてもいいですか。</p> <p>また、佐久島のアートや自然、海水浴場を生かした夜間のイベントやライトアップなど、佐久島でのナイトツーリズムを促進してはどうですか。</p> <p>2 佐久島の観光を取り巻く環境面の課題として、佐久島へのアクセスの難しさやトイレの整備不足を感じています。名鉄西尾駅や一色港からの交通機関の運行本数を増やしたり、吉田港などから佐久島へアクセスできるようにしてはどうですか。</p> <p>また、観光客が快適に観光を楽しむためには、トイレの整備は不可欠です。トイレの整備や新たな公共トイレの設置をしませんか。</p> <p>3 今後の佐久島における観光の取り組みについてです。第2次西尾市観光基本計画には「観光・にぎわい創出に係る課題・改善点」として、「イベントを開催したりまとまった予算を投じたりすれば、一時的には来訪者が増えるが、観光の取組が継続・定着するための仕組みや担い手育成などにも資源を充てるべきである」とあります。佐久島が今後もにぎわいのある観光地として、また、魅力ある佐久島としてあり続けるために、西尾市としてどのような施策を考えていますか。</p>

## 学生議会 質問通告書

【学校名：東部中学校】

ふりがな 氏名	むらい あやな 村井 絢南	学年等	3年B組
------------	------------------	-----	------

テーマ	小中学校プールの将来計画と火災への備え
現状や課題 意見・提案事項	<p>私は小学生のとき、プールの授業が好きで、夏になるたびにいつも楽しみにしていました。小学校にはプールが2つあり、新しくはありませんでしたが、プールで泳ぐことができるだけで胸が弾みました。また、プールが火災や災害の時などの消火活動に使われる消防水利の1つであることを知り、重労働なプール掃除も誰かの命を助けるためだと考え、隅から隅まで丁寧に掃除をしていました。</p> <p>そのため、小学校の水泳授業について、速やかに温水プールへの移行を目指すという基本方針を掲げる、「西尾市小学校プール全体計画」のことを知ったときにはうれしくなりました。小学生が、新しくきれいでプールサイドが熱くない温水プールで泳ぐことができるからです。さらに、天候や気温に左右されることなく専門のインストラクターの指導が受けられるため、より安全に、より楽しくプールの授業が行えるようになります。</p> <p>市内中学校のプールも、昭和40年代から50年代に建設され、50年以上経過しているものが多く、小学校プールと同様に老朽化が進んでいます。</p> <p>しかし、中学校のプールが今後どうなるのかについては、具体的な計画が発表されていません。中学校での水泳の授業は、小学校の授業と比べると、本格的なので、とてもやりがいがあります。だからこそ私はもっと泳ぎやすい環境で、自分の水泳技術の向上に励みたいです。</p> <p>それに、今後、全ての小学校が温水プールに移行して学校内のプールが取り壊されると、小学校で火災が起こったとき、プールの水を使った消火ができなくなってしまうので、危険だと思います。</p> <p>そこで質問します。</p>
質問	<p>1 中学校のプールについても、老朽化等により使用困難になることが考えられるため、何らかの対策が必要と考えます。今後、小学校のように温水プールに移行するなどの計画はありますか。</p>

	<p>2 市内全ての小学校の水泳授業が温水プールに移行すると、学校内にあるプールが取り壊されることが予想されます。その場合に、火災や災害の時などの消火活動をスムーズに行えますか。</p> <p><b>【再質問】</b></p> <p>各小学校内に、防火水槽などの消火するために必要な水を蓄える場所を新たに設置しませんか。</p>
--	--